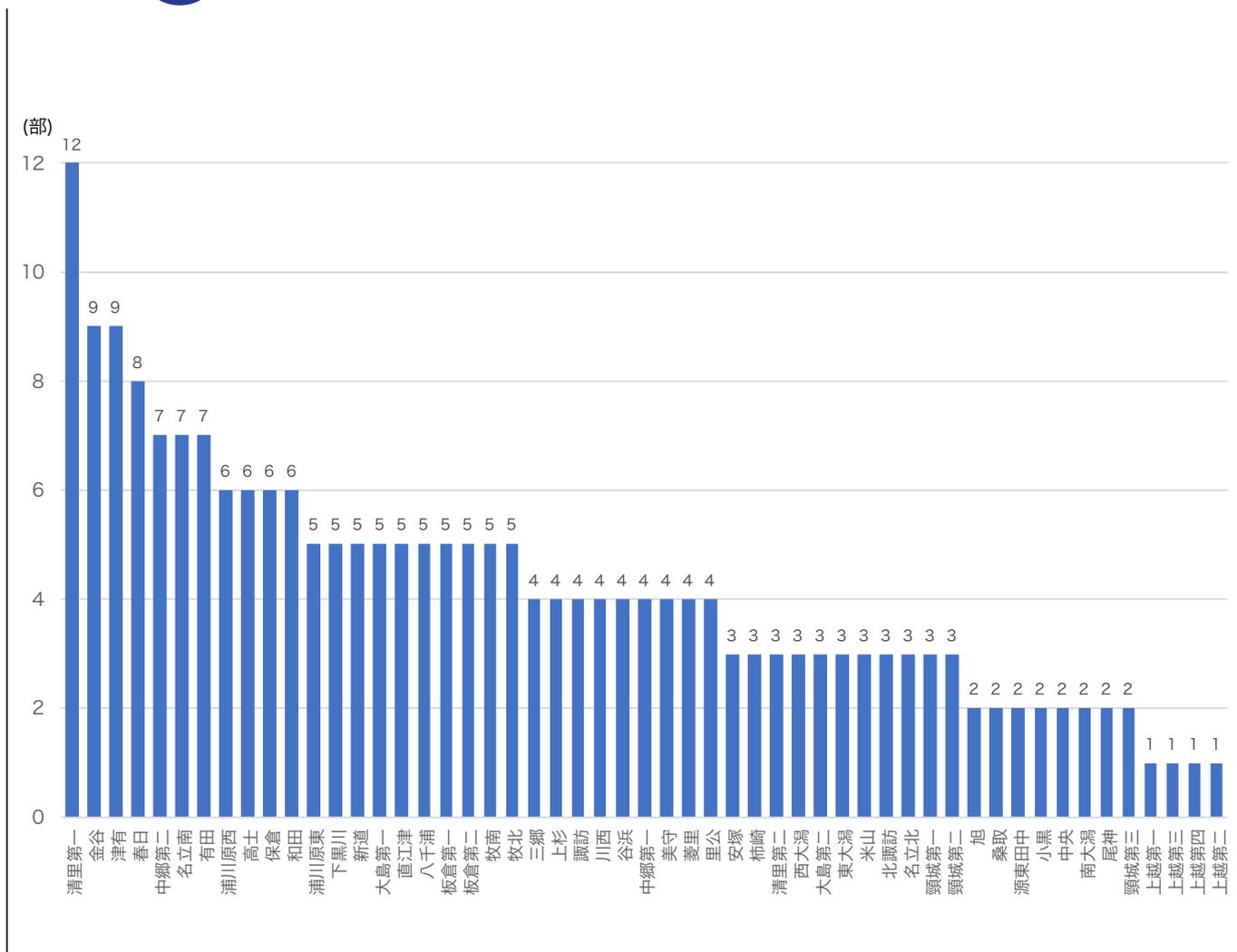


2 消防団の適正配置を検討するための 基盤データ

上越市
消防団適正配置検討委員会
調査報告書

2.1

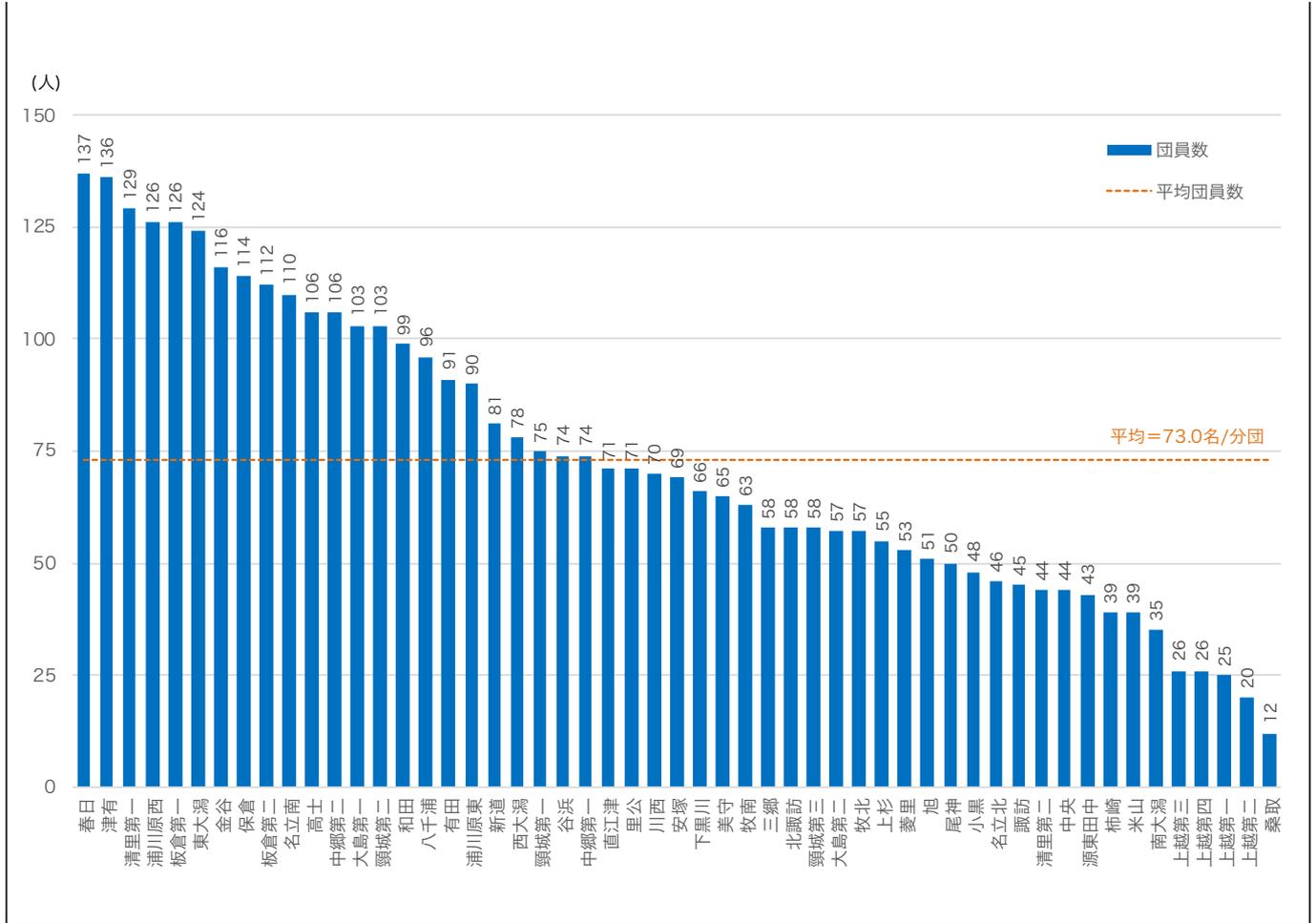
分団ごとの消防部数



53分団には222消防部があるが、12消防部で1分団を構成しているもの、1消防部で1分団を構成している組織もある。

2.2

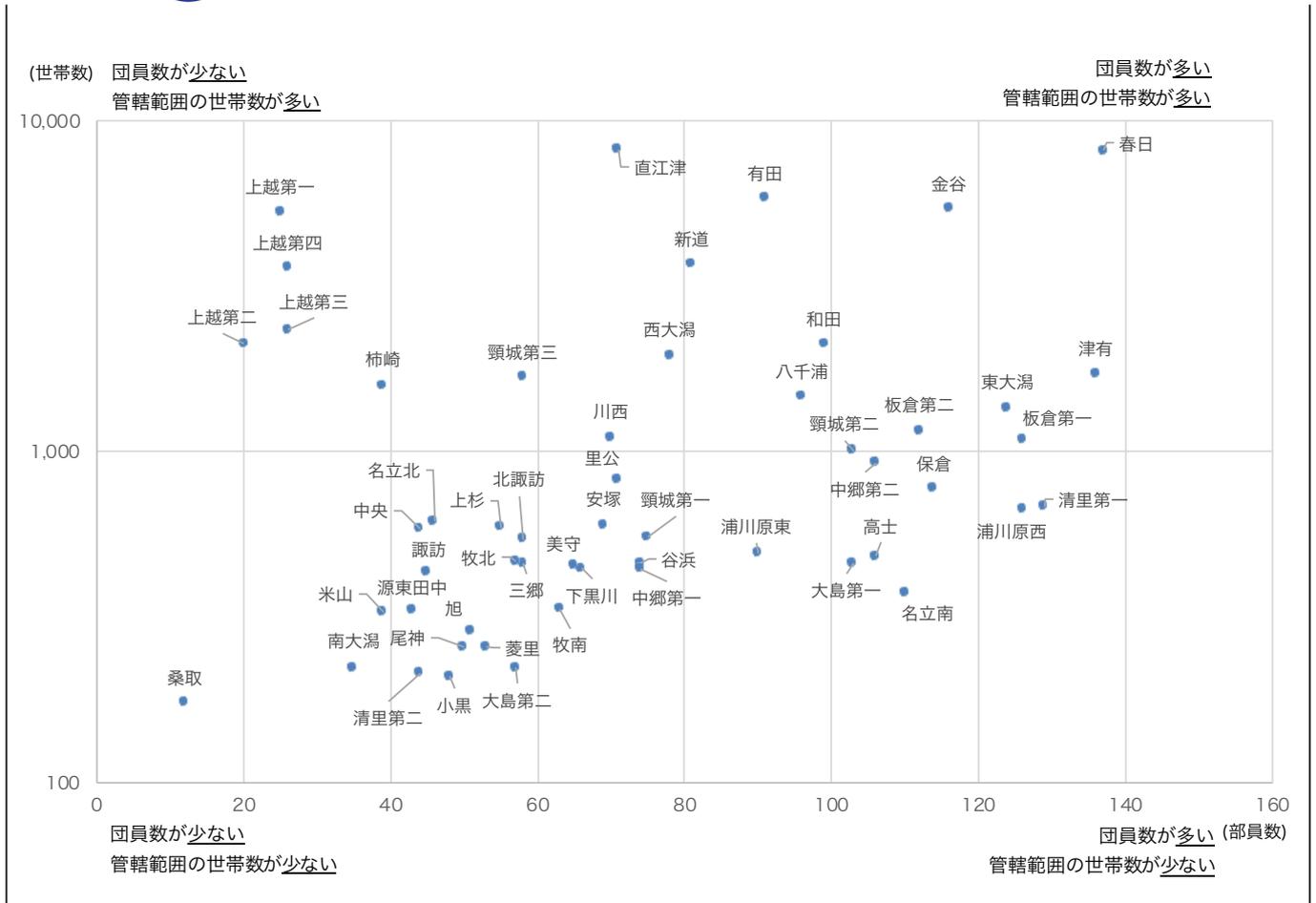
分団ごとの団員数



53分団の平均団員数は73.0人である。最も団員数の多い分団は上越春日分団の137人、最も団員数の少ない分団は上越桑取分団の12人である。上越春日分団は8消防部で、上越桑取分団は2消防部で構成されている。

2.4

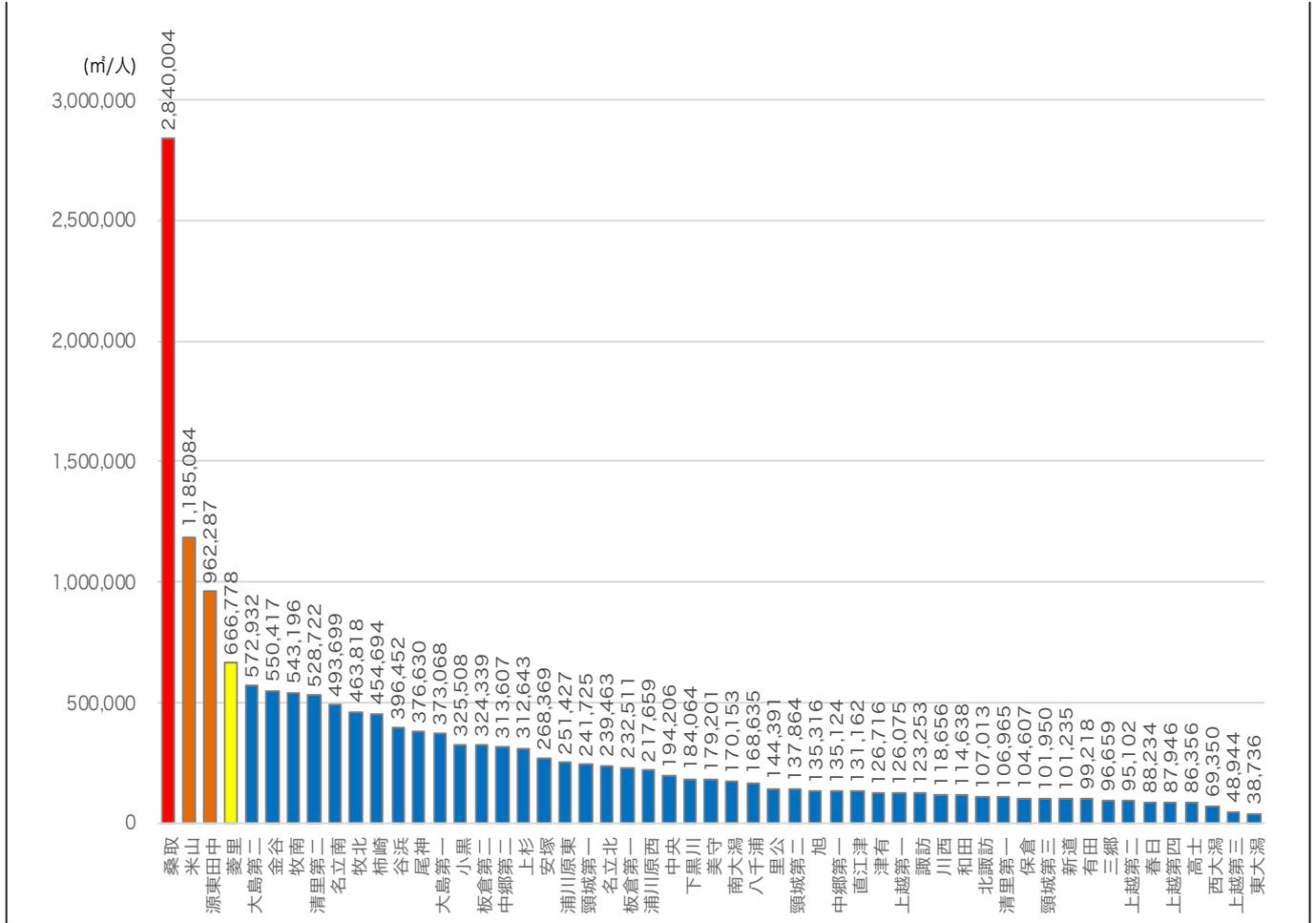
管轄範囲内の世帯数と消防団員数の比較



管轄範囲内の世帯数と団員数を比較した。縦軸は世帯数、横軸は団員数である。消防力の維持という観点から最も課題であると考えられるのは「団員数が少ないにもかかわらず、管轄範囲内の世帯数が多い」実態がある上越第一、第二、第三、第四分団、柿崎分団、頸城第三分団、上越直江津分団である。

2.5

各分団の団員1名あたりの管轄範囲面積



分団ごとの管轄範囲面積は、上越桑取分団の管轄範囲が突出して広く、2,840千㎡、東大湯分団が最も狭く38,736㎡である。上越桑取分団は、中山間地域に位置しており、人口は少ない実態があるため、1人あたりの管轄範囲が抜きん出て広い。

